

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2395700111
事業所名	グループホームかえで

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) コロナの5類感染症移行後もコロナの感染状況は変わらず、すぐに自粛解除とはならない状況がある。できることからの緩和を行い、コロナ禍以前の状態に戻してゆく予定がある。「今後の対応」として優先事項として取り組む意識が高い。運営推進会議に地域からの参加もあることから、情報交換等、ホームが孤立しない立ち位置の確保はある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) コロナ禍から、感染状況を見ながらできる限り対面で会議を開催している。感染状況によっては、人数や時間を調整し、縮小する場合もある。地域包括支援センター、民生委員、地域代表、同法人別事業所の管理者等の参加(意見照会の場合あり)を得て、ホームの運営報告を基に、意見交換を行う場として活用している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 行政の担当部署とは、ホームの運営に関する報告・相談を通じて適切に連携している。地域包括支援センターとは、空き情報等の報告を通じ、地域高齢者の相談、利用者紹介の連携がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) コロナ禍の時期から、家族の心配は変わらず、ホームのコロナ対応・対策についての意見や提案、意向や要望は多い。コロナの5類感染症移行もあり、家族からは緩和の要望も多く寄せられている。ホームは、利用者と家族の気持ちに寄り添い、真摯な対応に努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

コロナの感染状況等を見ながら、できる限り対面での会議開催に努めている。
-------------------------------------

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							